

## 学校教育目標

- ☆学ぶ力のある子 【知育】
- ☆心の豊かな子 【徳育】
- ☆たくましく生きる子 【体育】

# あけとの子

活気に満ち さわやかで 心なごむ学校

深谷市立明戸小学校

令和5年夏休み号

発行 令和5年7月20日



明戸小151年目の大けやき

## 夏休みは自分をみつめる時間



深谷市立明戸小学校長 強瀬 雪乃

7月21日から長い夏休みに入ります。

期間が長く毎日通う学校の勉強がない夏休みは、子供たちが自分の力で自分を伸ばす大切な時間です。学校で勉強したつもりでいたけれど聞き流していなかったらどうか、勉強したことは本当に身に付けているのだろうかを確かめる時間です。

いつもはつい目先のことばかりにとらわれがちですが、子供たちの将来のことを考え、身に付けさせたいことを確かめ、できるようにするための時間にしてほしいです。



一学期には、感染症の対策をとって様々な活動がおこなわれました。生活科見学、林間学校、社会科見学など学校を離れて経験や体験をすることは、今ある知識や学んだことを確かめるとも重要なものです。集団で活動するには何が大切なことなのか、改めて確認することもできます。

最近さまざまなメディアを見たり聞いたりする中、日本に限らず豊かな社会に共通する困った現象や状況に目が留まります。その一つ、汗を流さない、仕事に励まない若者が増え、進学しても就職しても、ちょっと気に入らないことがあるとすぐに辞めてしまう人が増えるという状況が多いということです。また、何かうまくいかない、それを他人のせいにしてたり文句だけは相手に言ったりする人が増えるということも困った状況です。自分にとって都合の悪いことを、人のせいにする・・・

相手の言い方が悪いから、言うことを聞かないという態度や考え方は、改善や成長の機会を逃し結果的に自分を駄目にしていくように思います。

自分に都合よい理由はいくらでも挙げられます。でも、自分がよくなる努力は自分でしなければならないことを、本当は子供も子供なりに知っていると思います。

誰がこうだからと誤魔化そうとするとところから抜け出せない、前にすすませませんね。

小さなことから、自分の責任で、自分を高める努力をさせることが必要なのではないのでしょうか。

自分が自分自身をどう見ているかということ、まず考えさせ、自分が本来持っているものも努力しないと伸びないし、それを確かめることもできないということを教えていきたいものです。

どんなに幼くても、自分を育てるのは自分自身だということ、その子なりにとらえさせることこそ重要ではないかと私は考えます。

いつもより時間をつくって夏休みに子どもとゆっくり話をしてみませんか。



